## 第 18 回海洋工学シンポジウム - 海に親しむ -

主催:(社)日本造船学会

協賛:関西造船協会、西部造船会、海洋音響学会、海洋調査技術学会、環境法政策学会、海洋理工学会、計測自動制御学会、国際海洋科学技術協会、資源・素材学会、石油学会、石油技術協会、電気学会、土木学会、日本エネルギー学会、日本沿岸域学会、日本化学会、日本海水学会、日本海洋学会、日本海洋開発産業協会、日本機械学会、日本建築学会、日本航海学会、日本深海技術協会、日本水産学会、日本水産工学会、日本鉄鋼協会、日本マリンエンジニアリング学会、(社)物理探査学会、水環境学会、溶接学会(順不同)

第 18 回海洋工学シンポジウムでは、「海に親しむ」をコアテーマとし、海洋工学の幅広い分野の最新情報をワークショップ形式で報告いたします。今回は、コアテーマに関連し、工学的な分野以外の見地からも、今後の海洋文化のあり方、われわれの進むべき道を探るということから、下記の招待講演および特別招待講演とパネルディスカッションを予定しています。

## 特別講演

「生物運動型潜水機に関する研究 山本郁夫 海洋研究開発機構 - 本物そっくりに泳ぐ魚ロボットの開発 - 」

響」 特別招待講演

講演題目未定 堀由紀子 新江ノ島水族館館長
「イルカ人工尾びれ作製プロジェクト」 植田啓一 沖縄美ら海水族館獣医師
「屋久島のうみがめ事情」 大牟田一美 NPO 法人 屋久島うみがめ館 代

海洋環境特別セッション招待講演

「環境リスクの統一的評価手法開発の必要性」 中西準子 産業技術総合研究所 化学物質リスク管理センター長

「農業活動が環境に及ぼす影響とその評価」 陽捷行 農業環境技術研究所理事長

海洋環境特別セッションパネルディスカッション 「海洋空間の大規模利用は是か非か?」

コーディネーター 大塚耕司 大阪府立大学助教授

パネラー 井関和夫 前出 陽捷行 前出

松田裕之 横浜国立大学教授

白山義久 京都大学瀬戸臨界実験所長 木村龍治 元東京大学海洋研究所教授

佐藤徹 東京大学教授 多部田茂 東京大学助教授

(敬称略)

また、一般セッションでも多彩な研究発表が行われます。本シンポジウムの目的は、会場における参加者と発表者の活発な討論により、海洋工学に関する相互理解と研究の発展を促進しようとするもので、多数の皆様のご参加をお願いいたします。

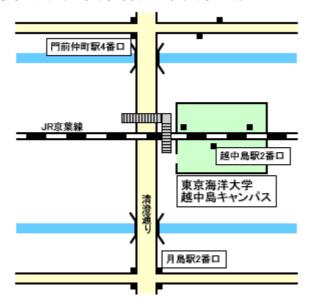
開催日 : 平成 17 年 1 月 27 日 (木)~28 日 (金)

開催場所:東京海洋大学 越中島キャンパス

108-8477 東京都江東区越中島2丁目1番6号

交通案内: JR 線京葉線 越中島駅(各駅停車のみ)から徒歩約2分

地下鉄東西線・大江戸線 門前仲町駅から徒歩約 10 分地下鉄有楽町線・大江戸線 月島駅から徒歩約 10 分



参加費:ホームページおよび申し込み要領に記載されています。

振込先: UFJ 銀行 船堀支店 普通預金口座 3968906

海洋工学シンポジウム事務局 大澤弘敬

申込方法:下記ホームページから直接お申し込みください。ホームページの閲覧が不可能な方は

下記へ E-mail あるいは FAX をお送りください。

E-mail: oes2005@ocean.jks.ynu.ac.jp FAX: 045-339-4098

ホームページ: http://www.ocean.jks.ynu.ac.jp/~oes2005/

申し込み先:独立行政法人 海洋研究開発機構 海洋工学センター内

海洋工学シンポジウム事務局 大澤弘敬 〒237-0061 神奈川県横須賀市夏島町 2-15

FAX: 046-867-9375

問い合わせ:横浜国立大学 環境情報研究院 村井基彦

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-7

電話:045-339-4098 FAX:045-339-4098

申し込み要領:詳細はホームページをご確認ください。

1.参加費を振り込んでください。料金は下表をご覧ください。

表:申し込みの種別と金額

27 1 0 12 13 12 13 12 13 1	
種別	金額
団体参加登録(5名以上) 1	7,000円/名
個人参加登録(主催・協賛学協会会員)	7,000円/名
個人参加登録(非会員)	8,000円/名
学生参加登録	3,000円/名
CD 別売 2	1,000円/枚

1:参加者中に主催・協賛学会会員を含む必要があります。

2:送料を含みます。

参加費には CD1 枚分が含まれています。

2.参加者情報を登録してください。